

令和6年度

施政方針

おはようございます。

只今、議長のお許しをいただきましたので、開会にあたりまして、ご挨拶と令和6年度の施政方針を述べさせていただきます。

本日、ここに令和6年長生村議会定例会3月会議の開会をお願いしましたところ、議員の皆様には大変ご多用にもかかわらず、ご参集を賜りまして、誠にありがとうございます。

議員各位並びに住民の皆様方には、常日頃より、村政運営にあたり、温かいご支援とご協力を頂き、お陰様をもちまして、令和5年度に計画いたしました各種事業も順調に進展いたしておりますことに対し、衷心より感謝申し上げる次第でございます。

それでは、ご審議に先立ちまして、村政運営の方針並びに予算の概要についてご説明をいたします。

令和6年度は、「第6次長生村総合計画・前期基本計画」の4年目にあたり、「第2期長生村総合戦略」の基本目標を踏まえて、持続可能なまちづくりに向け施策の完遂を目指すところであります。

また村の将来目標像として掲げる「夢がある、生きがいを感じる、住んで良かった長生村」を目指し、今日（こんにち）、世界の共通言語として浸透するSDGsやWell-being（ウェルビーイング：多様な幸福）の理念と方向性を考慮した事業を展開してまいります。

はじめに、一般会計予算案ですが、前年度比9.2%増の70億3,600万円を計上させていただきました。

まず、歳入ですが、村税においては、少子高齢化の進展や物価の高騰などが住民生活や地域経済に影響を及ぼす中、国が令和6年度に予定している定額減税による個人住民税への影響や固定資産税の評価替えによる減収分を見込み、法人住民税で増収があるものの、村税全体としては1,938万円の減収で計上いたしました。

譲与税、各種交付金については、国、県の財政情報を基に減収が見込まれますが、定額減税に伴い減収となる住民税の減収補てんが措置されることから、全体で5,060万円の増収、地方交付税及び臨時財政対策債についても同様に、地方交付税で17億4,000万円、臨時財政対策債で1,300万円を計上いたしました。

しかしながら、依然として厳しい財政状況が続いており、歳出額に対し、特定目的基金から3億2,110万円の繰入れを実施しても、なお歳入額が届かず、令和6年度予算においても財政調整基金を取崩し、予算編成を行いました。

次に、歳出ですが、令和6年度主要施策の中で、新規並びに拡充事業を中心に、「第6次長生村総合計画・前期基本計画」の施策体系に沿って、ご説明申し上げます。

はじめに、《産業が活性化し、活力に満ちた にぎわいのある村》について申し上げます。

まず、農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や後継者不足、農産物の価格低迷など厳しい状況にある中で、依然として物価高騰の影響を受け、肥料や農薬といった資材等の高騰により、危機的な状況が続いております。米の需要の減少傾向が続く稲作農家だけでなく、農業者全体で、厳しい状況が予測されるため、令和5年度に引き続き村独自の物価高騰対策を実施いたします。また、畜産振興事業では新たに自給飼料生産拡大支援事業を創設し、飼料代が高騰し経営がひっ迫している畜産農家を支援いたします。

地域農業の将来計画である「人・農地プラン」は「地域計画」に移行します。引き続き地域の実情に合った農業振興施策、担い手の育成及び生産コスト削減施策を着実に実施するとともに、村内全域で多面的機能支払交付金事業が活用されるよう、新規活動組織の立ち上げや育成に努め、地域ぐるみの共同活動を支援し、農村環境の保全管理を

推進してまいります。

県営湛水防除事業により進められている一松地区の大排水路整備は、大根地先までの第一期工事が完成する予定です。この事業は農業振興だけでなく、防災・減災にも大きく寄与される事業であることから、今後計画されている第二期工事についても、早期に着手するよう国・県に強く要望してまいります。

担い手支援事業では、長生農業独立支援センターを通じて、新規就農・営農に関するサポートを行っていますが、新規就農者がスムーズに営農開始できる体制づくりとして、住宅費用の一部を助成し不安なく農業に取り組めるよう支援してまいります。

次に、農業と商工業を連携させた村の一大イベントである「ながいきフェスタ」は、今年で6回目を迎えます。イベントを通じて、地域住民との交流を楽しんでいただき、地域の活性化、関係人口の増加につなげてまいります。

次に、《誰もが健やかに、生きがいをもって暮らせる村》について申し上げます。

まず、保健予防対策の充実として、予防接種事業では、引き続き帯状疱疹予防接種費用の一部を助成し、経済的負担を軽減することで、帯状疱疹の発症及び重症化を予防してまいります。

母子保健事業では、保険適用された不妊治療に対して、自己負担額の一部を助成し、経済的負担を軽減することで、子どもを産み、育てたいという願いを後押ししてまいります。

また、出産・子育て応援交付金事業についても継続して実施し、出産や子育てに対する不安の軽減を図ってまいります。更に、出産・育児への支援を行う産後ケア事業については、宿泊型・日帰り型・訪問型を利用者のニーズに合わせて柔軟に実施するなど、安心して子育てしやすい環境づくりを推進してまいります。

各種検診事業については、疾病の早期発見・早期治療につなげ重症

化予防に努めるため、村独自の追加検査として胃がん検診でのピロリ菌検査、子宮頸がん検診でのHPV（ヒトパピローマウイルス）検査を継続して実施してまいります。

高齢者・障がい者支援については、交通弱者の社会活動を支援するための福祉タクシー事業、外出支援サービス事業を引き続き実施してまいります。また、高齢者の緊急通報システムにスマートフォンでの対応システムを導入することや、ごみ出し支援を行う地域ボランティアの育成など、住み慣れた地域で高齢者などが安心して生き生きとした生活を送れるよう、日常生活を総合的にサポートできる体制づくりと社会参加の促進を支援し、地域共生社会の実現を目指してまいります。

生涯学習の基幹施設である「長生村交流センター」は、毎日たくさんの方々にご利用いただいております。特に子育てルームでは、幼児たちに外国人と生の英語でコミュニケーションをとることができる英語教室が好評で、引き続き施設の有効活用を図り、各種イベントや事業を展開していきたいと考えております。

また、長生村文化会館は、空調設備、音響設備の更新が完了いたしますが、今後も安全かつ快適にご利用いただくため、引き続き、施設の長寿命化を図ってまいります。

学んだ成果が地域社会で活かせる地域に密着した生涯学習を推進し、将来を担う人材育成に取り組んでまいります。

若い世代の移住定住を促進するための三世代同居・近居住宅支援事業は、名称を多世代住宅支援事業に改め、対象要件を二世帯にするなど要件を大幅に緩和し、より多くの移住定住を促進してまいります。村に転入し、二世帯で同居・近居を始める世帯に住宅取得費用の一部を補助することは、人口減少の抑制と安心して子どもを産み育てやすい村として、地域コミュニティの形成・活性化に寄与できるものと考えております。

次に、《みんなで次世代の夢を育む村》について申し上げます。

少子高齢社会の進展に伴い、人口減少も急速に進んでおります。

本村においても、出生率の低下が課題となっていることから、地域少子化対策重点推進交付金を活用した結婚支援事業を積極的に展開するとともに、村独自に結婚新生活に必要な家具や家電の購入費用も対象経費に加えることとし、結婚を希望する人を後押ししてまいります。

次代を担う子どもたちは村の宝です。子育て支援は、子育て世代のためだけではなく、地域社会全体にとって、未来への投資であると言えます。子どもの健やかな成長を、地域全体で支援する環境を整備してまいります。

妊娠・出産・育児まで切れ目のない子育て支援施策として、子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から子育て期に係る心配事や悩み事の相談を保健師が受け、関係機関との調整を行うワンストップサービスを継続して実施し、相談体制の充実を図ってまいります。

妊婦健康診査の助成による経済的負担の軽減、産科医療の確保についての広域的な検討、男性の育児参加推進などにより、ライフデザインに合わせた妊娠・出産・育児に関する希望を叶えてまいります。

また、高校3年生までの子ども医療費助成事業は中学3年生までは現物給付の助成となっておりますが、利便性の観点から高校3年生まで拡大するよう、早期実現に向け茂原市長生郡医師会等と協議してまいります。

認定こども園では、通園時の負担軽減を図るため、お昼寝用の簡易ベッドを整備し、手荷物を減らすことで親と子が手をつなぎながら登園できる「手つなぎ登園」を目指します。また、小学校への接続を意識した英語教室や運動教室を実施するとともに、同じ子育てをする親同士の相談と交流ができる場として、子育て世代にとっての総合的な支援施設として充実を図ってまいります。

次に、学校教育については、新たに学校司書や理科の学習支援員等

の人員を配置するなど、教育環境の整備・充実を図るとともに、長生村教育大綱の基本理念に基づき、こども園から小中一貫教育を推進し、子どもたちの健全な心身の育成と豊かな創造性を育ててまいります。

また、昨今の物価高により、卒業アルバム作成に係る保護者負担への影響が大きいことから、新たにそのアルバム作成費用を支援いたします。

学校給食では安全・安心な給食を提供するため、給食センターの早期完成を目指すとともに、引き続き第3子以降の学校給食の保護者負担を無償とします。公共交通機関を利用して通学している高校生、大学生等の通学定期補助金は6年制の大学生等も対象に加え、幅広く子育て世帯へ経済的負担の軽減を図ってまいります。

I C T教育の取り組みとして、G I G Aスクール構想により整備したタブレット端末の効果的な学習利用を促進し、デジタル教科書用教材の整備など、I C T環境を活用した教育スタイルを実施してまいります。

昨今の世界情勢を鑑み、平和教育として、中学生を対象に実施しております広島平和記念式典への派遣を継続し、被爆者との交流や原爆資料館などの見学を通して、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを認識し、平和と命の大切さを継承する人材育成を図ってまいります。

次に、《豊かな自然に囲まれ、魅力にあふれた住みたくなる村》について申し上げます。

潮流の変化や地球温暖化などにより、村の観光資源である一松海岸の侵食被害が深刻化しております。千葉県が策定した九十九里浜侵食対策計画に基づき、確実な改善が図られるよう引き続き関係機関に強く要望してまいります。

S D G sにおける再生可能エネルギー対策を推進する取り組みを支援するため、引き続き住宅用設備等脱炭素化促進事業を実施し、家

庭用蓄電池の設置や電気自動車の取得などに対し支援することで、地球温暖化対策の推進を図ってまいります。

住環境の保全については、空家等対策計画に基づき、適正な管理の助言・指導を行うとともに、空家の解消と空家を活用した移住定住の促進を図ってまいります。

都市整備については、策定される立地適正化計画に基づき、人口減少・少子高齢社会に対応したコンパクトプラスネットワークを形成し、持続可能なまちづくりを実現するため、各種事業を検討してまいります。

道路整備については、緊急性、有効性を踏まえて通学路などを中心とした道路改良や排水整備、舗装修繕などを計画的に実施することで、安全で快適な道路空間を確保し、歩行者に優しい住みやすいまちづくりを推進してまいります。

特に慢性的な排水不良箇所の浸水被害を解消するため、地域排水整備事業を実施し、地域全体で排水能力の検証や整備を行い、浸水被害ゼロを目指してまいります。また、一松地区の排水対策は長生第一排水機場の排水能力が<sup>かなめ</sup>要となつていますが、近年、排水機場周辺には土砂やカキガラ等が堆積し排水機能に支障を来たしていることから、新たに河川維持管理事業として、広範囲にわたり<sup>しゅんせつ</sup>浚渫工事を実施し、早急に本来の排水機能を確保いたします。

公共下水道事業については、公営企業会計による経営健全化、経営分析に努めるとともに、清潔で住みよい住環境の確保と公共用水域の水質保全のため、認可区域における管渠の整備や浄化センターの改築更新工事を計画的に進めてまいります。

防災対策については、災害発生時に村が発信する防災情報を迅速かつ正確に住民が入手できるよう、防災メール、防災アプリなどの複数メディアと連携した情報伝達を推進してまいります。



また、自主防災組織連絡協議会を通じて、各地区の防災対策等を情報共有することで、災害に強い村づくりを進めてまいります。

最後に、《持続可能な行財政運営を行う村》について申し上げます。

職員一人ひとりが役場の顔として、常に「心からのおもてなし」を提供するため、接遇の重要性を再認識しております。相手の目線にたった思いやりと笑顔の接遇を心がけ、さらなる住民満足度の向上を目指してまいります。

行政情報の発信については、広報紙やホームページに加え、SNSなど様々な媒体を活用し、長生村への愛着を感じてもらうとともに、地域への興味・関心・参画意欲を高めてまいります。

行政手続における利便性の向上を図るため、各種行政サービスの情報化やオンライン化の推進、キャッシュレス決済、マイナンバーカードを活用した諸証明書のコンビニ交付に取り組んでまいります。

また、自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）推進計画に基づき、情報システムの標準化・共通化に向けた取り組みを進めてまいります。

ふるさと納税については、新しい生活様式により国民の生活スタイルが変化している中、全国の皆様から多くの寄附をいただいていることに深く感謝申し上げます。今後も民間ポータルサイトの活用により寄附者の利便性の向上を図るとともに、新たな返礼品の発掘や、地場産品を積極的にPRし、長生村の魅力を発信してまいります。

限りある財源の中で、行政サービスの質の向上を図るため、事業が効率的に進むように準備を整え、各課・職員がコミュニケーションを図り、慎重かつ大胆な行財政運営を進めてまいります。また、職員一人ひとりの資質向上、意識改革、メンタルヘルス対策にも取り組んでまいります。

以上、村政運営にあたっての所信の一端と主要施策について申し上げます。

物価高の影響もあり、財政状況は依然として厳しい状況ではありますが、社会情勢の変化と村民ニーズをしっかりと捉え、「安全・安心な村づくり、住んで良かった長生村」と思っていただけの魅力あるまちづくりに全身全霊を傾ける所存でございます。

議員の皆様におかれましては、なお一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます、令和6年度に向けての施政方針といたします。